

平成31年3月1日

保護者のみなさまへ

千早赤阪村立千早小吹台小学校  
校長 當麻 裕彦

## 「本校の教育を充実・発展させるためのアンケート」結果の報告とお礼

いよいよ、弥生3月を迎えました。暖かい陽ざしが校舎をいっぱい照らし、春の訪れを感じられるようになりました。保護者の皆様方には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

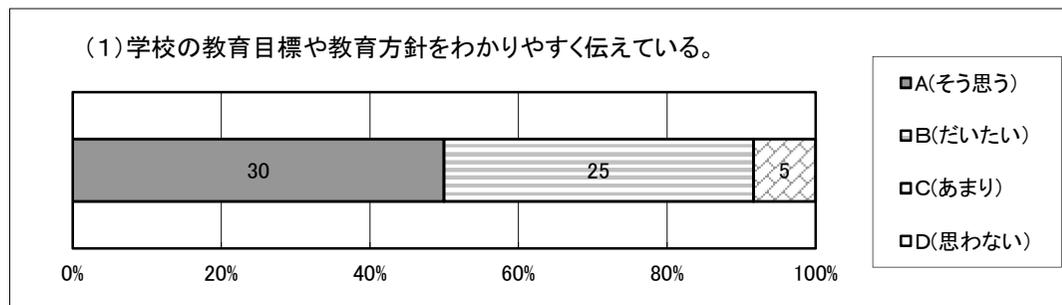
さて、「千早小吹台小学校の教育を充実・発展させるためのアンケート」をお願いしましたところ、多くの貴重なご提言や励ましのお言葉をいただくことができました。

次年度に向けての改善点や新たな取り組みを考える資料として活用し、本校の教育活動の改善をより進めてまいりたいと考えております。また、児童(4・5・6年生)にもアンケートをとりました。こちらも、子供たちの考えや要望にも応えていけるようにし、今後の参考にしたいと考えております。

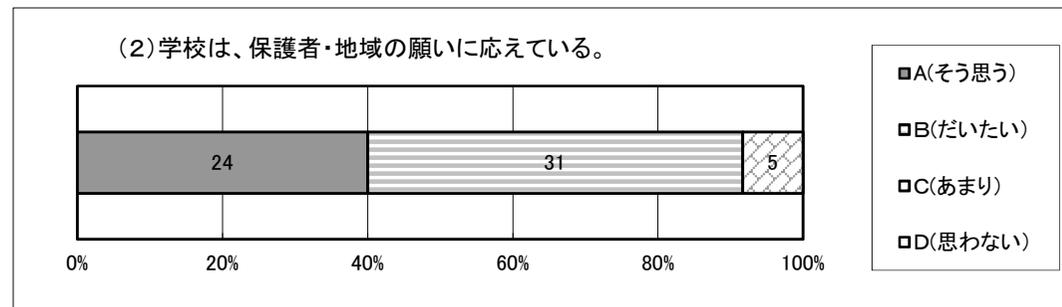
今後も、本校の教育活動に、一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

保護者の皆様、アンケートにご協力いただき、誠に、ありがとうございました。

(グラフ内の数字は、回答人数です。)

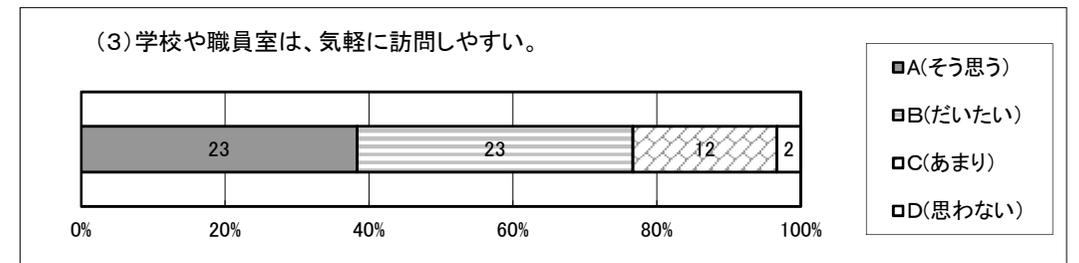


「やさしさと笑顔いっぱいの学校」をキャッチフレーズに、今年度はともに学びともに育つ学校づくりを進めてまいりました。92%の方が肯定的に評価してくださっています。あまりそう思わないと回答された方にもご理解いただけるよう、工夫を考え、発信を続けてまいりたいと思います。

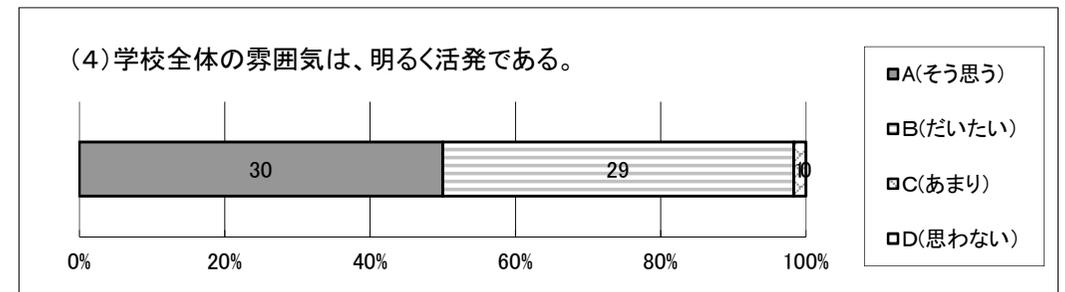


こちらも肯定的な評価は92%でした。あまりそう思わないと回答された5名の方のご意見は謙虚に受け止め、保護者・地域の皆様の学校教育への願い(期待や要望)を偏りなく、正しく把握することに努め、より多くの保護者・地域の皆様にご理解いただけるように努め続けてまいります。

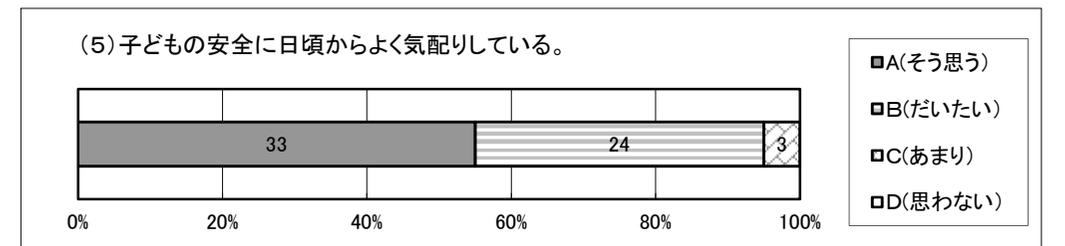
(1)



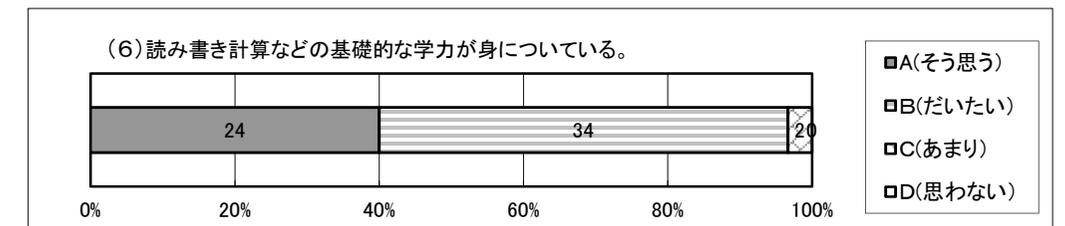
他の設問と比べるとあまり思わないという評価が多く、気軽に学校や職員室に訪問しにくいと考えておられる方が約2割いらっしゃいます。学校支援地域本部の活動で、たくさんのボランティアの方も多く学校におこしいただきました。平素から気軽に訪問しやすい学校づくりをめざしたいと思います。



肯定的な評価が98%でした。「明るく活気のある学校」は子供たちの明るさや笑顔、また健全な成長につながることです。引き続き、教職員一人ひとりが、「やさしさと笑顔いっぱいの学校」という教育目標についての意識を高く持ち、力を合わせて「明るく活発」な学校づくりに努力を続けてまいります。

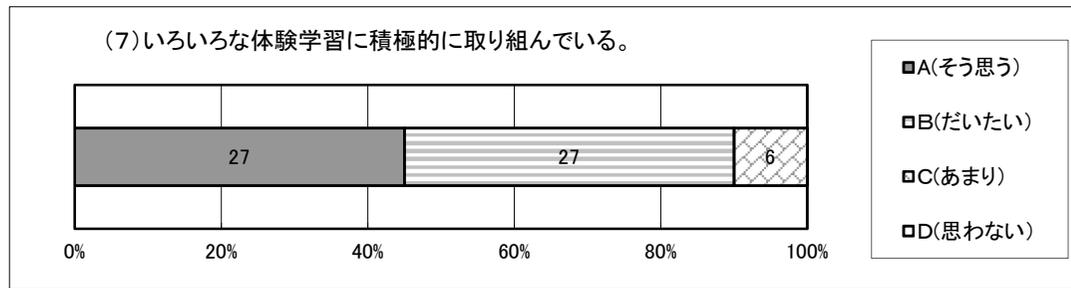


肯定的な評価は95%でした。安全で安心な学校は、何よりも大切なことであると考えます。防災教育や、防災訓練はもちろん登下校の安全指導、交通安全指導を通じて、また、放課後や休日の過ごし方も含めて、子供たちへの安全指導について指導を続けてまいります。

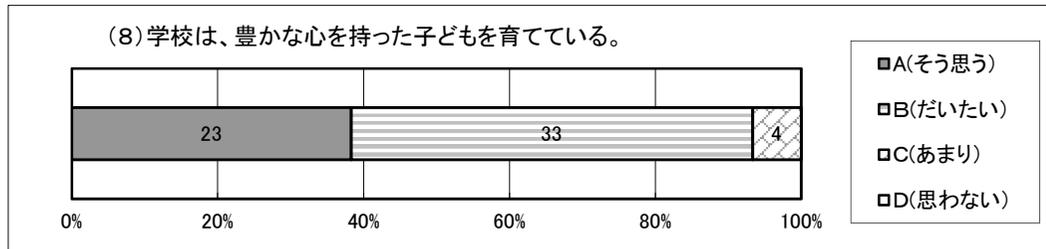


97%の肯定的な評価をいただきました。本校では、朝読書、ホームリーディング、読み聞かせなど読書の取り組みや3年生以上の算数科での少人数分割授業、またプリントでの反復学習や漢字や本読み、ノート指導の充実など基礎学力向上に向けて様々な取り組みをしています。今後とも学力向上のための指導法の工夫改善は粘り強く続けていきたいと考えています。

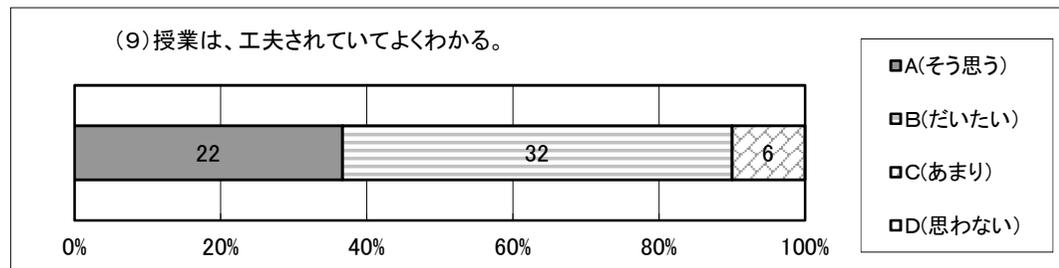
(2)



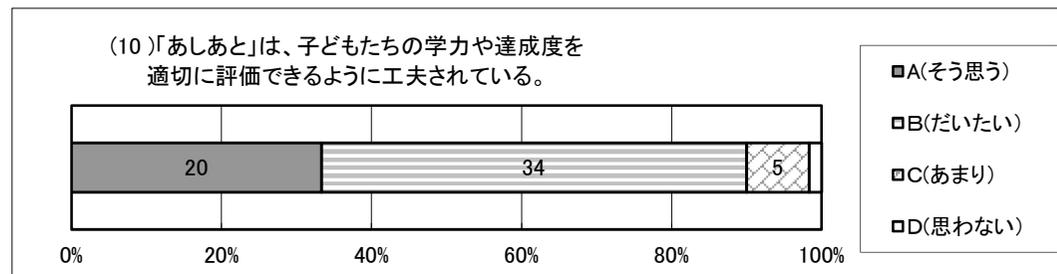
肯定的な評価は、90%でした。本校は、通学バスを利用して、安い価格で様々な場所に出かけて、校外学習を行うことが容易であるという大きな利点があります。臨海学舎や、村の誇りである金剛山に全校で登山するなど自然に触れる体験をはじめ、今年も様々な分野のゲストティーチャーにも来ていただき、「陶芸教室」「水墨画」「花の寄せ植え教室」「租税教室」「車いすバスケット」等積極的に取り組んでいます。



肯定的評価が93%でした。「豊かな心」「確かな学力」「健康な身体」を教育目標の柱に位置づけ、今年は「ともに学び共に育つ教育の充実」を重点目標としました。豊かな心を育み、生き生きとした学校生活を送ることができるよう、これからも教職員一同努力を重ねてまいります。

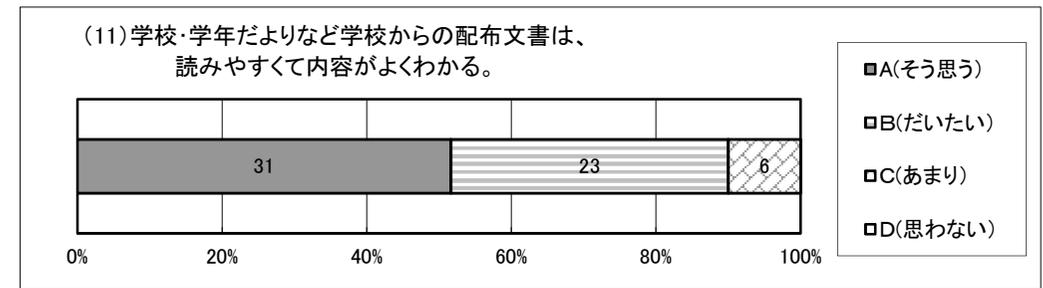


肯定的評価は90%でした。どの子にもわかる授業をめざして授業改善の努力を続けていますが、10%の思わないという児童にも「わかる喜び」を感じさせられるような授業改善をめざし、教育委員会や外部講師の指導を受けながら組織的な研修を行い、教師の授業力向上のために取り組みを続けます。

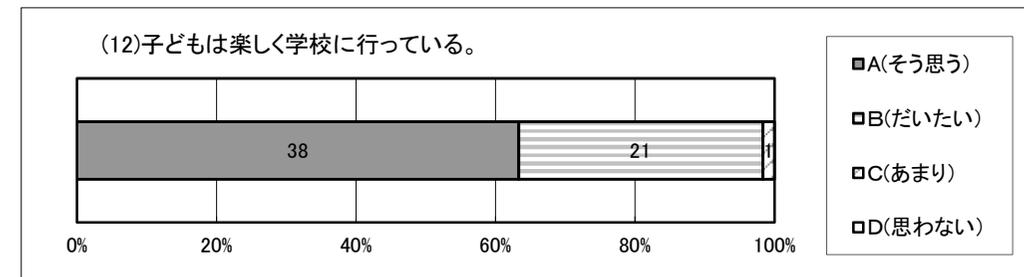


5年前に全面改定した通知表は、毎年改善を加え、本年度は道徳科の評価も記述で行います。また、所見はシール添付式にしてたくさんの内容を記述できるようにしました。〇〇ができる。わかるという見えやすい学力だけでなく、「思考力」「判断力」「表現力」や「主体的に学習に取り組む態度」なども含めての学習評価ができるよう改善をすすめています。

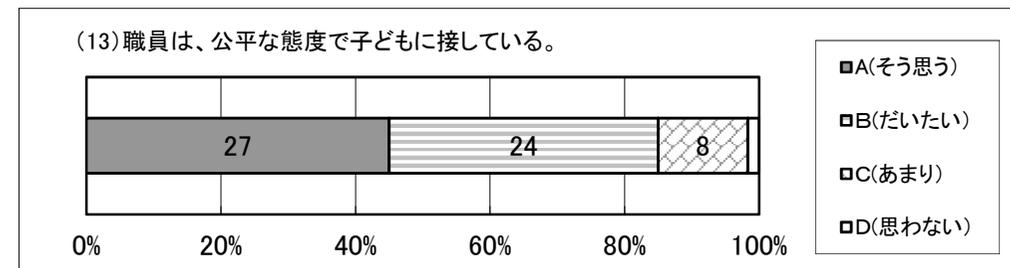
(3)



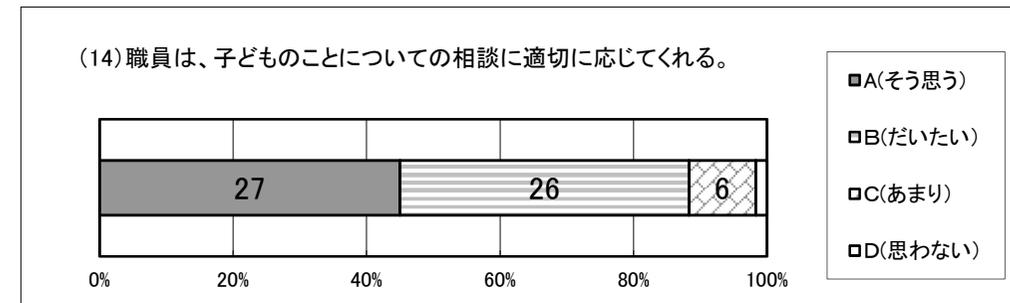
90%の肯定的評価をいただきました。平素から「学校だより」「学年だより」「保健だより」「参観や行事のお知らせ」等、様々な内容をプリントをお読みいただきありがとうございます。2月3月はカラー印刷の試行なども行いました。今後ともわかりやすい紙面作りに工夫と努力を重ねてまいります。



楽しく学校に通うことが、学校教育の前提になります。ここは、肯定的評価が100%でなければならないと考えています。「思わない」という評価の1名の児童が気になります。一人ひとりの実態の把握と個別の相談をしっかりと行い、個別支援やいじめ問題への対応も含め、学校全体で組織的に進めます。

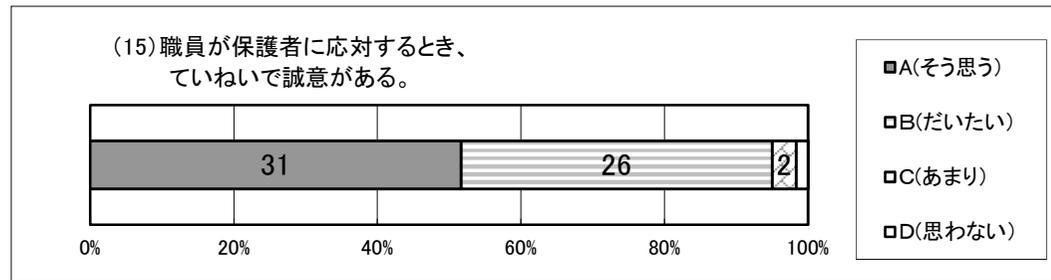


肯定的な評価は、85%でした。公平に接しているつもりでも子供にはそう受けとられない場面もあるのだと思います。子供の気持ちに寄り添い、丁寧に思いを聴き取り、理解の努力を続けてまいります。



肯定的な評価は、88%でした。12%の否定的評価があり、不十分なこともあると感じます。今後も、子供への日々の対応についての力量向上に努めると共に、各種の教育相談やアンケートを充実させ、適切な対応ができるように、一層職員のカウンセリングマインドの向上に努めます。

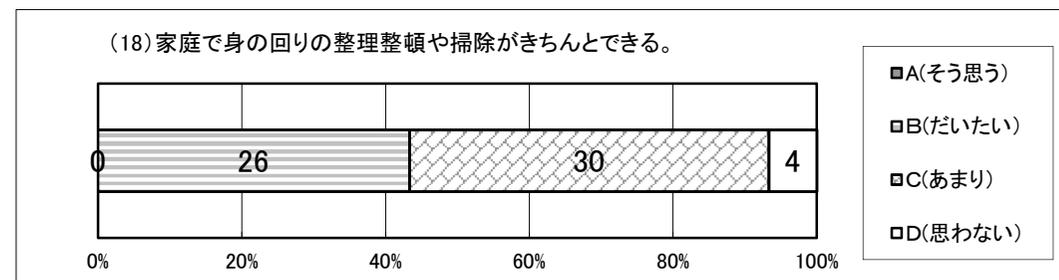
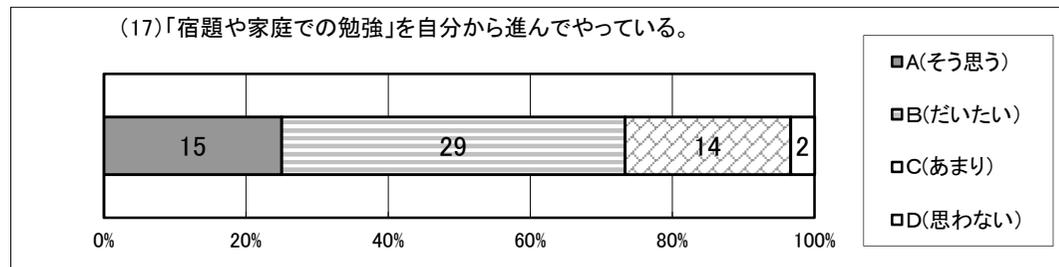
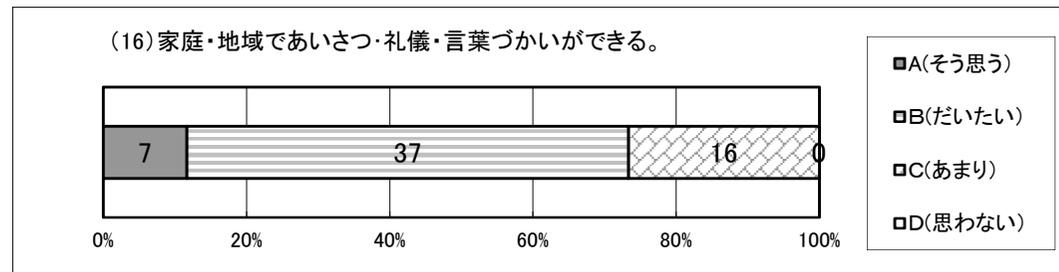
(4)



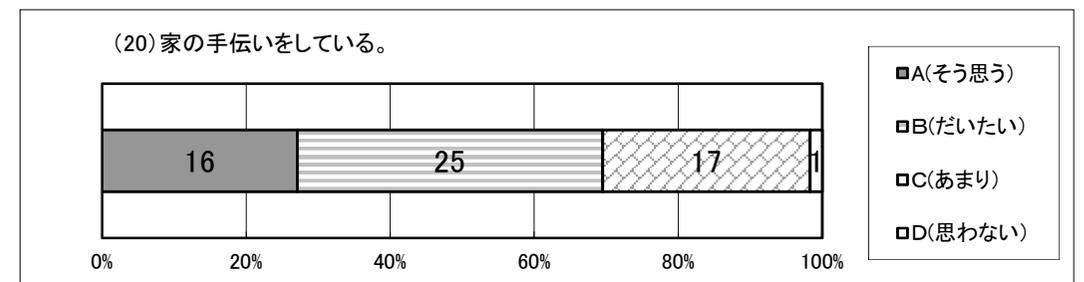
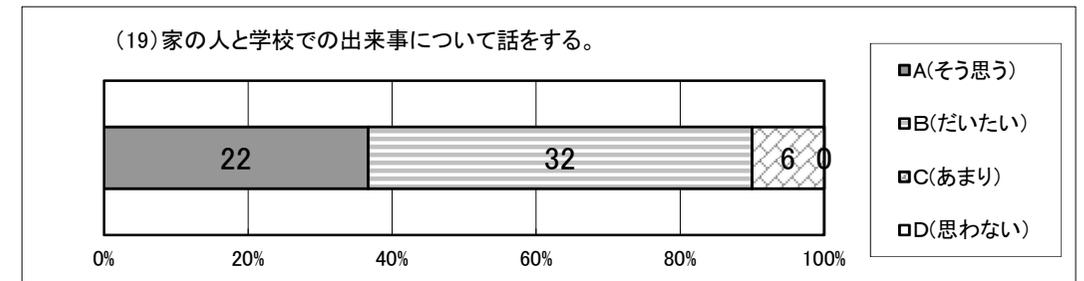
肯定的な評価は95%でした。個々の職員全員に「学校の顔」であるという意識を持たせ、保護者や地域の皆様とのコミュニケーションを大切に、誠意ある対応をするように常日頃から心がけるように指導しております。今後も努力を続けてまいります。

★★♪。☆☆★★♪。☆☆★★♪。☆☆★★♪。☆☆★★♪。☆☆★★♪。☆☆★★♪。☆☆★★♪。☆☆★★

次の5項目は、各家庭でのお子様の様子についてお聞きました。



(5)



この5項目は、日頃学校ではわかりにくい、ご家庭でのお子様の様子について伺いました。

(16)「あいさつや礼儀・言葉遣いができる」(17)「宿題や勉強を進んでする」  
(20)「家の手伝いをしている」  
は、7割程度が肯定的な評価でした。  
(19)「家の人と学校の出来事について話をする」の設定では90%が肯定的な評価でした。  
反面  
(18)「身の回りの整理整頓がきちんとできる」の肯定的評価は43%にとどまっています。

学校での指導の参考にさせていただきます。  
各ご家庭におかれましても、あいさつや正しい言葉遣いを意識させたり、家のお手伝いで役割をもたせたり、片づけや物の整理、そうじを自分でさせる場面を意識的に多くしたりするなどの日常からのご指導をよろしく願いいたします。

(6)